

14 大型偶蹄類〈カバ、キリン、バイソンなど〉

- ア 和名：カバ〈偶蹄目、カバ科、カバ属〉
英名：Hippopotamus
学名：*Hippopotamus amphibius*
分布：サハラ以南のアフリカ



【カバ】

- イ 和名：キリン〈キリン属〉
英名：Giraffe
学名：*Giraffa camelopardalis*
分布：サハラ以南のアフリカ



【キリン】

バイソン〈ウシ科〉

- ウ 和名：アフリカスイギュウ
〈アフリカスイギュウ属〉
英名：African buffalo
学名：*Synceros caffer*
分布：サハラ以南のアフリカ

- エ 和名：アメリカバイソン〈バイソン属〉
英名：American bison
学名：*Bison bison*
分布：北アメリカ



【アメリカバイソン】

- オ 和名：ヨーロッパバイソン
英名：European bison
学名：*Bison bonasus*
分布：野生状態では絶滅

(1) 動物の特徴と同定

大型偶蹄類

特定（危険）動物としてカバ科、キリン科、ウシ科動物のうち、アフリカスイギュウ属、バイソン属に分類される動物が指定されている。

ア カバ

英名：Hippotamus

学名：*Hippopotamus amphibius*

分布：サハラ以南のアフリカ

特徴：頭部は大きく、四肢は短い。皮膚は裸出し灰褐色、腹部はピンク色を呈す。

全長：3.3～4m

体重：2,000～4,000 kg

習性等：

- ・草食性で日中は水中や水辺ですごし、夜間活動する。5～15頭ほどの群れで生活するが、30頭以上の群れになることもある。水中での生活に適し、6分間も潜水していることができる。
- ・妊娠期間は233日。1産1仔。子供は水中で出産する。
- ・寿命は飼育下では46年間生存した記録がある。
- ・近似種として、コビトカバが知られている。

CITES II

イ キリン

英名：Giraffe

学名：*Giraffa camelopardaris*

特徴：淡い褐色の地色に濃い赤褐色の斑紋が見られる。この斑紋は点状、網目状など亜種により異なる。頭部に3～5本の角がオスにもメスにも見られる。この角は全体が皮膚に覆われており、先端部が角化している。舌が長く40cmほどもあり、木の枝から葉をまきとるのに適している。

体長：3～4m

尾長：80～100 cm

頭部までの高さ：4.7～5.3m

体重：800～1,930 kg

習性等：

- ・草原（サバンナ）や乾いた地域に10～15頭前後の群れで生活する。
- ・妊娠期間は420～468日。1産1仔まれに双仔の例がある。
- ・寿命は20～30年とされているが、飼育下では28年の記録がある。
- ・アミメキリン、マサイキリンなど9～12亜種がある。キリン科の動物としては他に、オカピが知られている。

ウ バイソン

ヨーロッパバイソン、アメリカバイソンの2種が知られている。

英名：Bison

学名：*Bison spp.*

分布：東ヨーロッパ、北アメリカ

特徴：全身は褐色をした長い毛でおおわれ、頭部は黒褐に近い。肩の部分が著しく発達して盛りあがる。オス、メスにも角があり、アメリカバイソンでは頭部の毛が耳をおおう。

体長：2.7m

体高：1.5～1.8m

体重：900～1,350 kg

習性等：

- ・ヨーロッパバイソンは森林地帯に、アメリカバイソンは草原にすみ、共に群れ生活をする。両種共に一時生息数が減少し、ヨーロッパバイソンは野生状態のものは絶滅した。2種の間では雑種ができる。
- ・妊娠期間は267～274日。1産1仔。
- ・寿命は野生状態で25～27年の記録がある。

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

誕生後数週間の、子牛ほどの大きさの幼獣であれば、数人掛かりで首や身体を抱えて保定できる。

B 器具を使用した保定法

誕生後数週間の、子牛ほどの大きさ幼獣であれば、枠場を用いた保定が可能である。

C 特に注意すべき事項

人身事故を防止するため、全ての作業に当たり、保定者はヘルメットおよび皮手袋を装着する。また、塩酸エトルフィンによる人身事故を防止するため、常にナロキソンなどの拮抗剤を使用できるように準備しておく。また、麻酔に当たっては、動物にできるだけストレスを与えないように注意する。

D 麻酔法

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には深い麻酔は必要がなく、拮抗剤のある麻酔がよい。日本では日本動物園水族館協会に加盟する一部の園館が研究目的で使用を許可されている塩酸エトルフィンなどの使用が望ましい。塩酸エトルフィンの総投与量はカバで4～8mg、キリン2.5～3.5mg、バイソン2～5mgなど。拮抗剤のジプレノルフィンは塩酸エトルフィンの2倍量を静脈内投与する。日本のキリンの麻酔では、キシラジン

0.5mg/kg、メデトミジン 100 μ g/kg などの鎮静剤を併用している。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

左耳の後部、付け根の皮下に埋めこむ。

B マイクロチップ埋込みの実際

動物を起立、腹臥状態あるいは右下横臥にして、術部をイソジン綿かアルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。

C 特に注意すべき事項

埋込み器の針の穿刺部分は、できる限り血管を避ける。